

2021年10-11月実施

中頓別町

# 育児と仕事の両立を考えるアンケート調査 集計結果の報告

保護者向け

2022. 02. 25

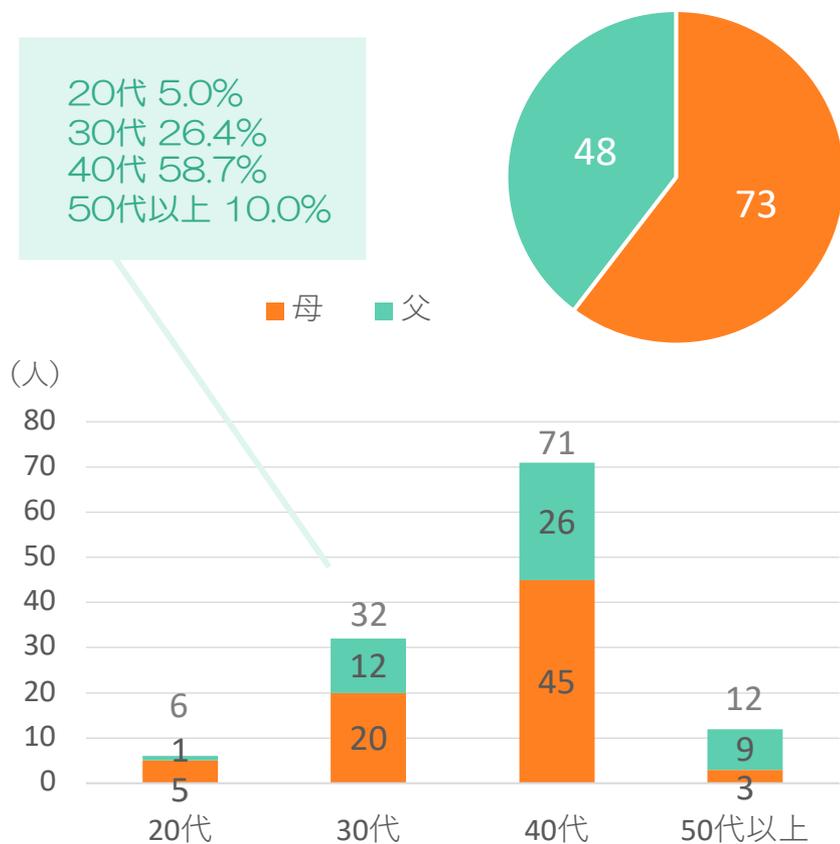
回答期間 2021年10月24日～11月4日（12日間）

配布数 330枚

回答者数 122人

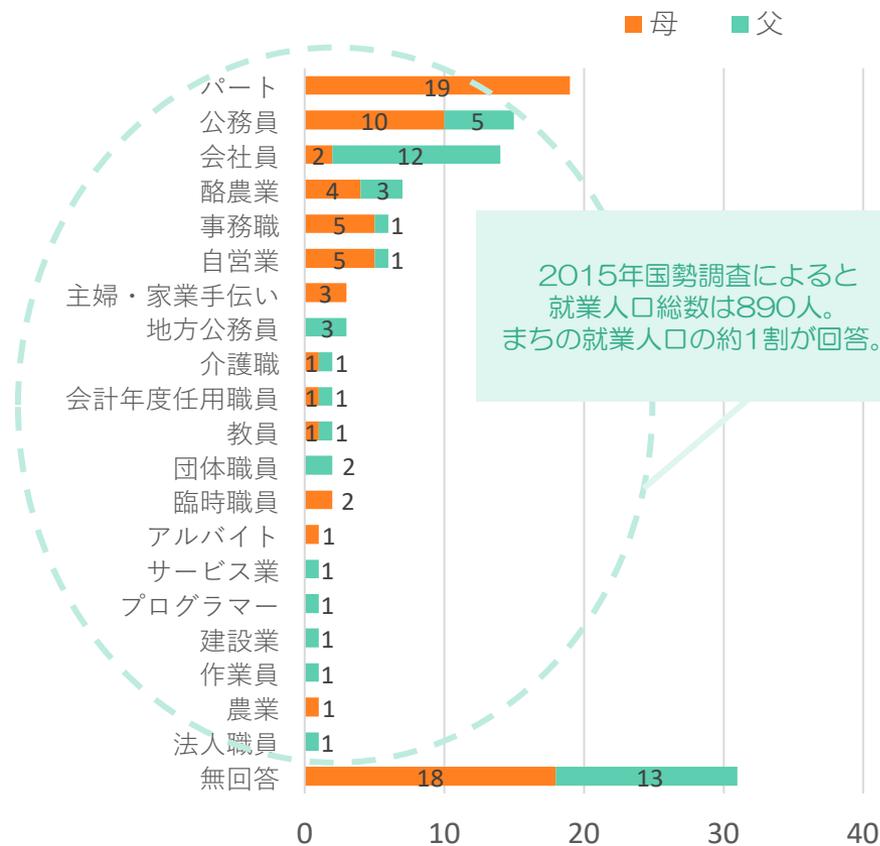
# 1. 本調査票へご記入されるご自身について教えてください。

## 1-a. 回答者の男女比と年代



回答者数121, 無回答1

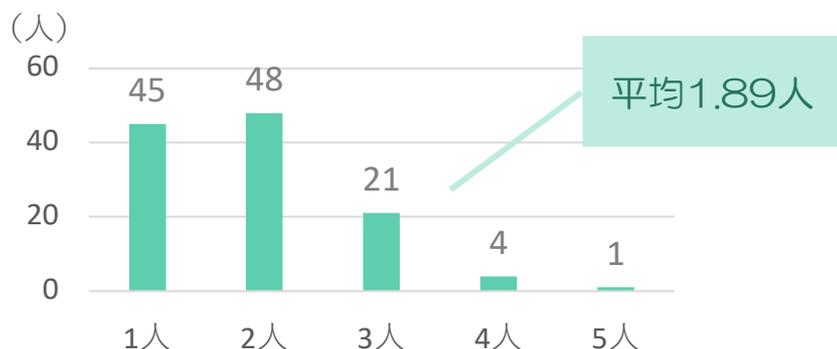
## 1-b. 回答者の職業



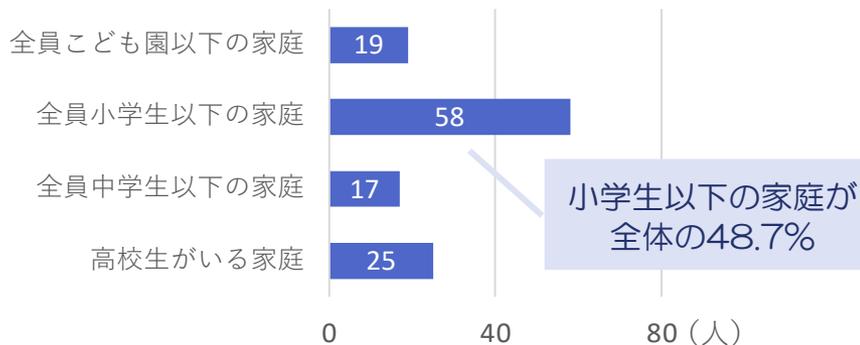
回答者数91, 無回答31

## 2. 同居している家族について教えてください。

### 2-a. お子さんの人数

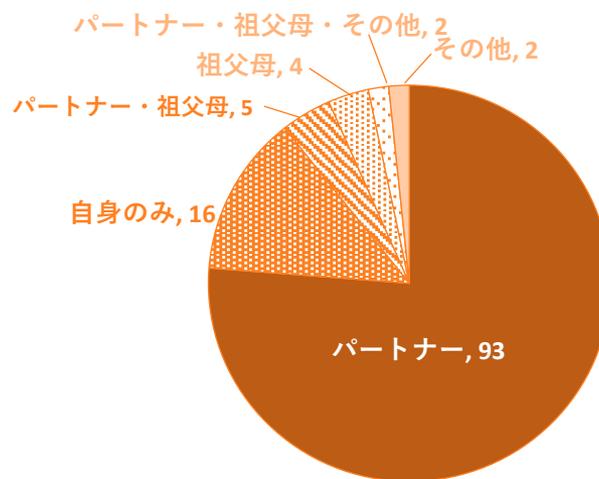


### 2-a. お子さんの世代



回答者数119, 無回答3

### 2-b. 回答者・お子さんを除く同居者

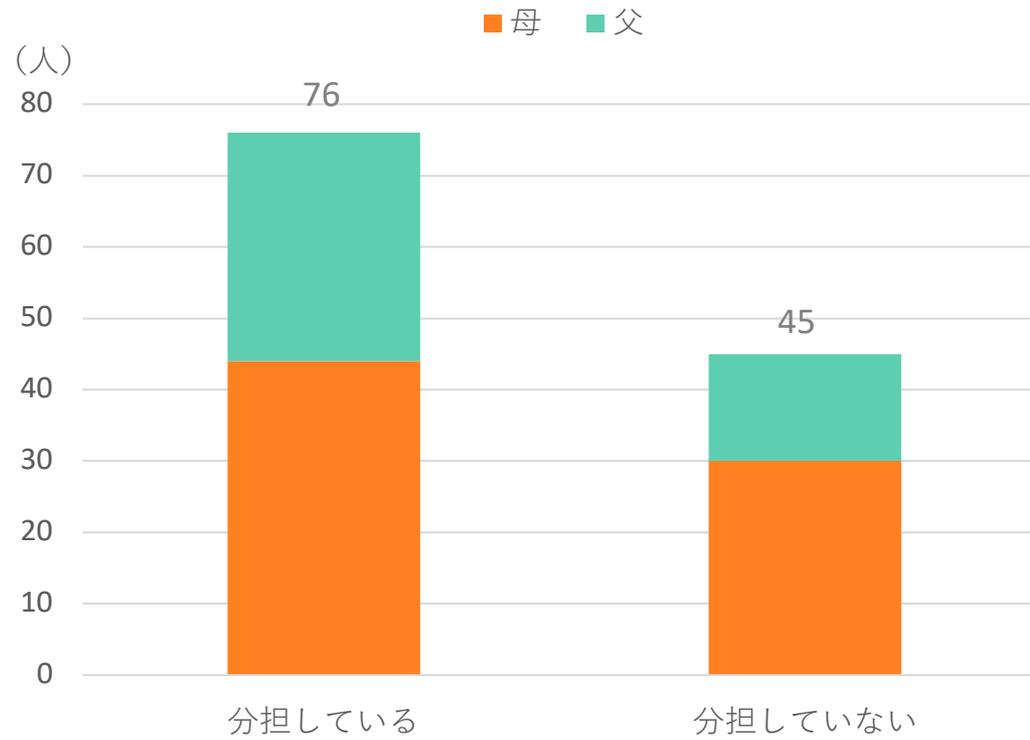


|                   |       |
|-------------------|-------|
| 子ども+夫婦（核家族）       | 76.2% |
| 子ども+ひとり親          | 13.1% |
| 子ども+夫婦+祖父母（二世帯同居） | 4.1%  |
| 子ども+ひとり親+祖父母      | 3.3%  |
| 子ども+夫婦+祖父母+その他    | 1.6%  |
| 子ども+ひとり親+その他      | 1.6%  |

回答総数122

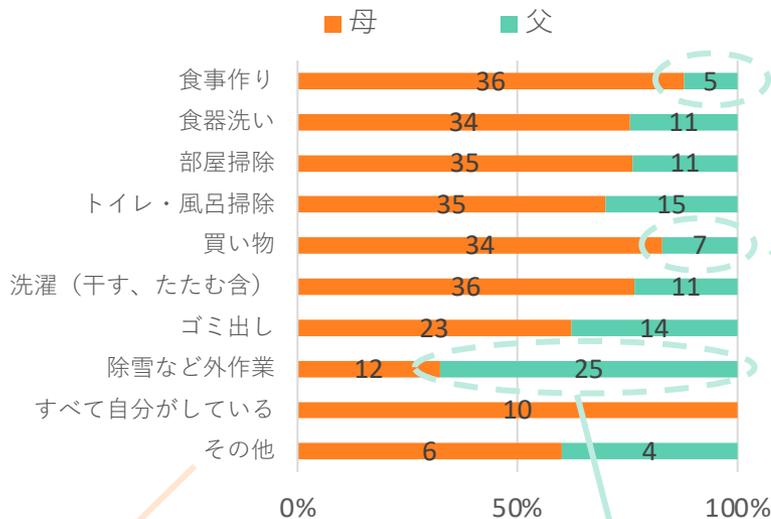
### 3.ご家庭では家事・育児の分担をしていますか？

#### 3. している／していない



## 3.ご家庭では家事・育児の分担をしていますか？

### 3-ア. 家事（複数回答可）



「できる人ができることをする」という回答も

「食事作り」「買い物」を担当していると回答した父の割合が低く、次いで「洗濯」「部屋掃除」「食器洗い」を担当している割合が低い

力仕事である「除雪など外作業」を担当している父の割合が高い

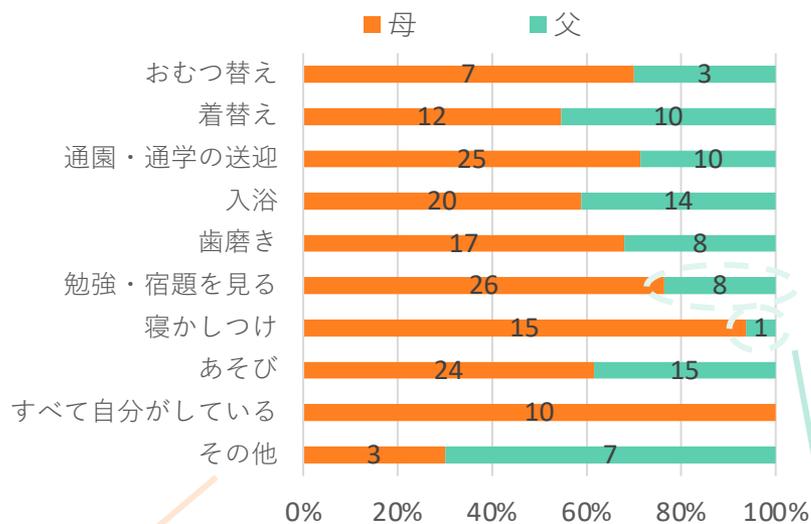
2019年12月23～26日、国内在住のインターネット・モニター（20歳以上70歳未満）及びその配偶者を対象に行われた内閣府委託による「家事等と仕事のバランスに関する調査」

- 家事・育児の分担割合（回答者平均）は、妻は7割程度と回答し、夫は3割程度（末子が0～2歳児の場合は家事が37.0%、育児が36.4%でやや高い）と回答している。
- 家事については、「洗濯」「食事の準備」「食後の片付け」の実施が妻に集中し、これらは夫の「まったくしない」の回答割合も高い項目となっている

選択肢が同じではないため、単純に比較することはできないが、「洗濯」「食事の準備」「食事の片付け」の役割が母に集中している点が全国のデータと共通している

## 3.ご家庭では家事・育児の分担をしていますか？

### 3-イ. 育児（複数回答可）



読み聞かせ、少年団等の送迎、手伝いをしているといった声も

「寝かしつけ」に次いで「勉強・宿題を見る」を担当している父の割合が低い

回答者数71, 無回答51

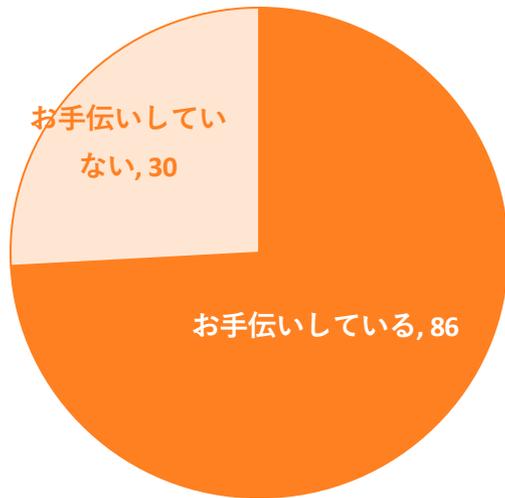
2019年12月23～26日、国内在住のインターネット・モニター（20歳以上70歳未満）及びその配偶者を対象に行われた内閣府委託による「家事等と仕事のバランスに関する調査」

- 育児については、日常的な世話は妻が担い、夫は週に1～2回又は月に1～2回など、限られた頻度で関わっている。
- 育児について、夫の「まったくしない」の回答割合が特に高いのは、就学前の「育児に関する予定の管理」「育児に関する情報収集」「保護者会活動」、小学1～3年生の「保護者会やPTAの活動・個人面談」である。
- 夫は子の年齢が低いほど育児に関わる傾向がある。
- 日常的な世話の実施頻度は、子の年齢が高いほど少なくなる傾向にある。また、子の年齢が高くなると必要になる「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」、「宿題や勉強の手助け」「保護者会やPTAの活動・個人面談」については、全くしない夫の割合が日常的な世話以上に高いため、妻の育児負担が子の成長により軽くなるとは必ずしもいえない。

選択肢が同じではないため、単純に比較することはできないが、「学業」に関する役割が母に集中していることが全国のデータと共通している

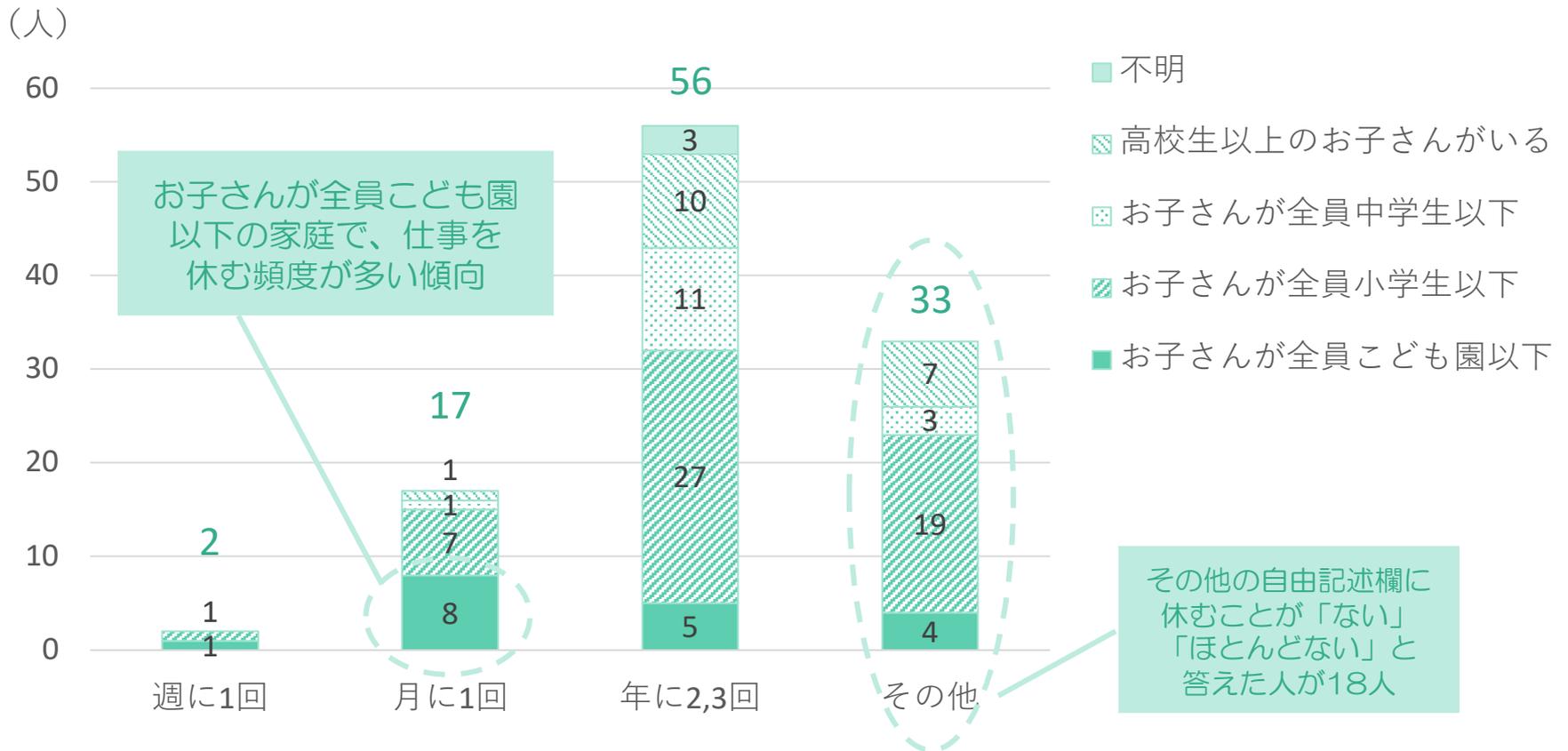
### 3.ご家庭では家事・育児の分担をしていますか？

#### 3-ウ. お子さんのお手伝い



- 食事の準備・片付け (38)
- 洗濯干し・たたみ(16)
- 部屋掃除 (7)
- 米とぎ (5)
- トイレ掃除
- 酪農の仕事の手伝い
- 風呂掃除 (30)
- ゴミ出し (15)
- 除雪 (5)
- 買い物
- 畑仕事・家庭菜園
- 布団の片付けなど

## 4. 休日以外に育児で仕事を休むことがありますか？



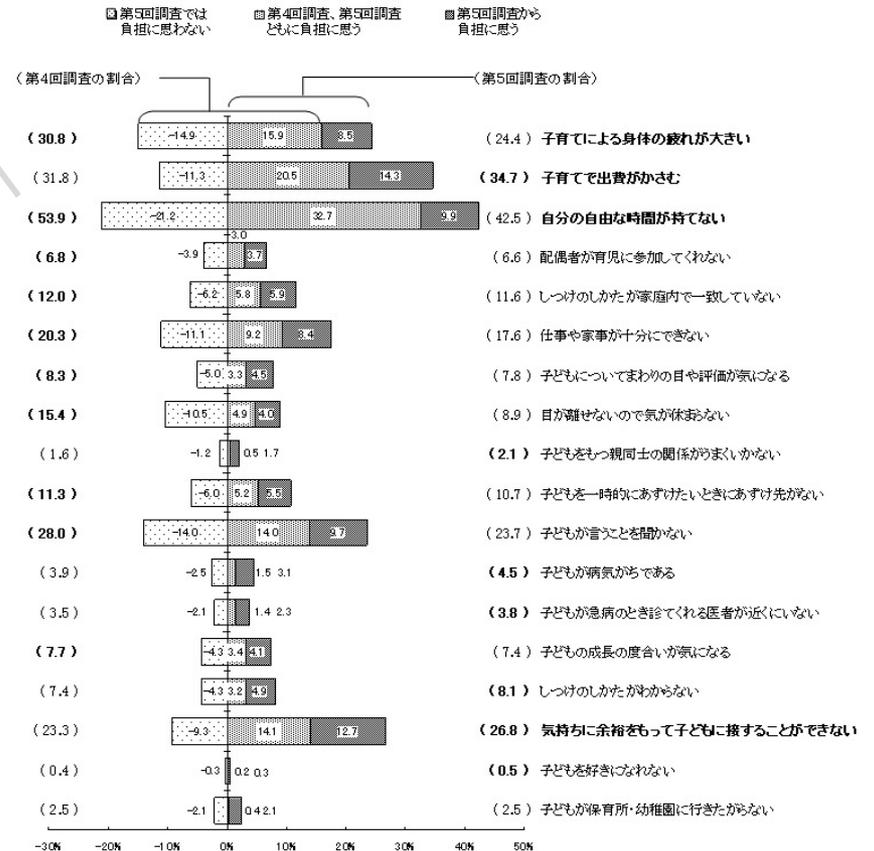
# 5. 育児をしていてどんなことが大変に感じますか？

中頓別町では「自身の時間ない」ことや「金銭面（出費がかさむ）」、「言うことを聞かない」、「あずけ先がない」といった課題が全国のデータと共通している

父母ともに、お子さんとの向き合い方が難しいと感じている人が2割いる

- 向き合い方  
 (叱り方が難しい、いうことを聞かない、反抗的な態度など) (20)
- 子どもの体調不良・発熱、病院が遠い (9)
- 生活費等の金銭面の不安 (3)
- 家が片付かない、家事が進まない (3)
- 寝かしつけ (2)
- 下の子（乳幼児）を連れて上の子の行事に参加する時、静かにしないといけない時 (1)
- 栄養面を考えた食事づくり (1)
- 仕事との両立 (11)
- 自分の時間がない (5)
- 子どもの居場所が少ない (3)
- けんかの仲介 (2)
- 日常生活の習慣化 (2)
- 進路の決定 (1)
- 特にない (16)

厚生労働省が平成17年8月、平成18年2月に実施したアンケート「自分の自由な時間が持てない」（42.5%）が最も多く、次いで「子育てで出費がかさむ」（34.7%）、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」（26.8%）、「子育てによる身体の疲れが大きい」（24.4%）が多い。



## 6. 育児をしていてどんなことが楽しい、幸せに感じますか？

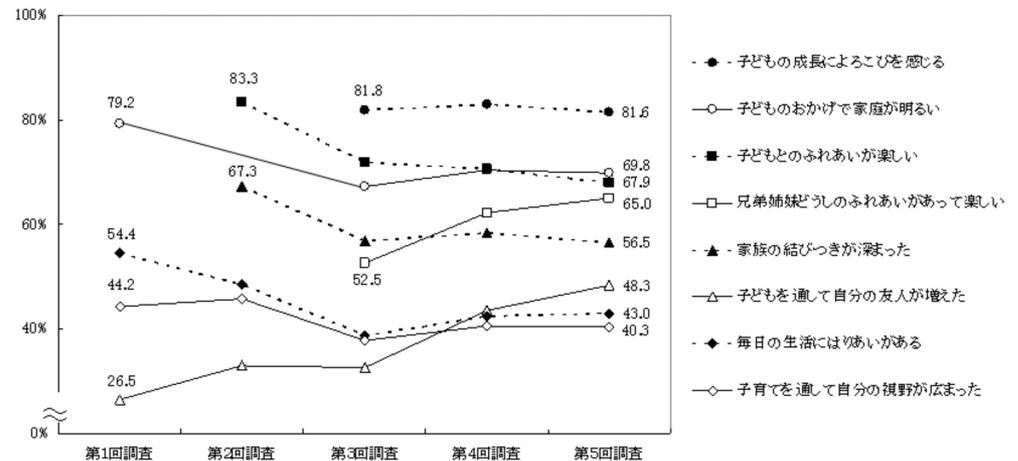
|          |      |
|----------|------|
| 子どもの成長   | (41) |
| 子どもの笑顔   | (28) |
| 一緒に過ごす時間 | (21) |
| 対話の時間    | (13) |
| 寝顔       | (7)  |

そのほかに以下のコメントもありました。

- 育児を通して仲良くなった友達とお酒を飲みながら過ごす時
- 自分の考えつかないようなことを教えてもらったり、気づきが楽しい

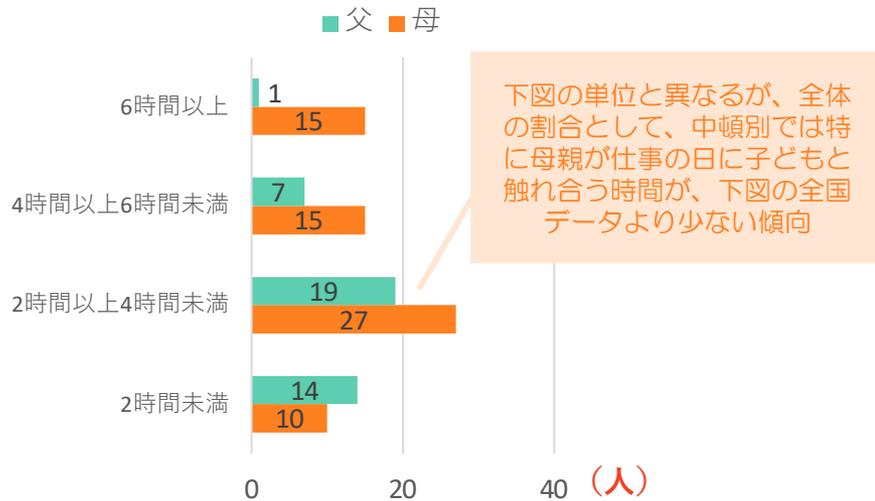
厚生労働省が平成17年8月、平成18年2月に実施したアンケートによると、「子どもの成長に喜びを感じる81.6%」「子どものおかげで家庭が明るい69.8%」「子どもとのふれあいが楽しい67.9%」の順に高い割合を示している

図16 子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）の変化

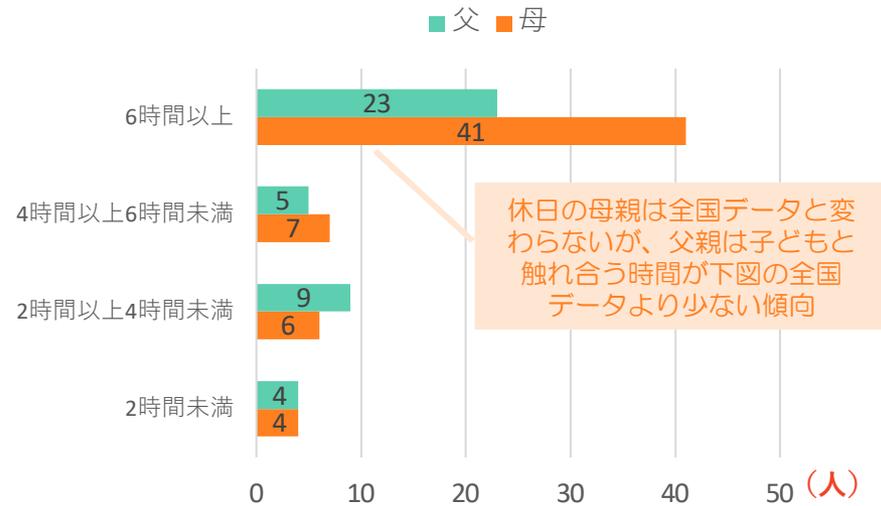


# 7. お子さんと触れ合う時間はどれくらいありますか？

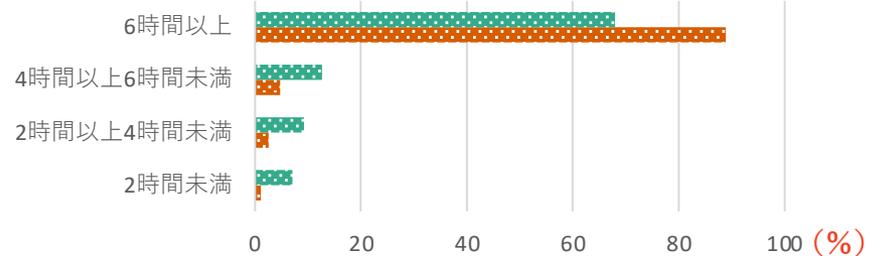
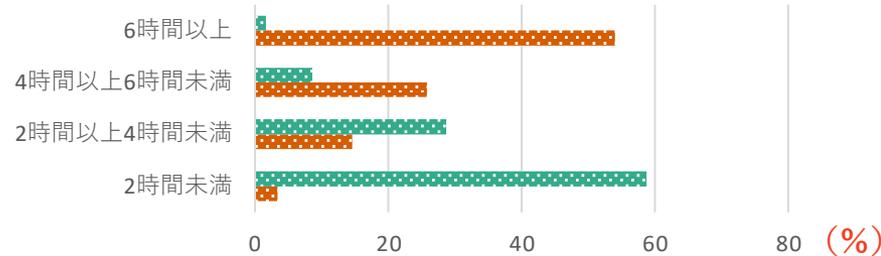
## 仕事の日



## 休みの日

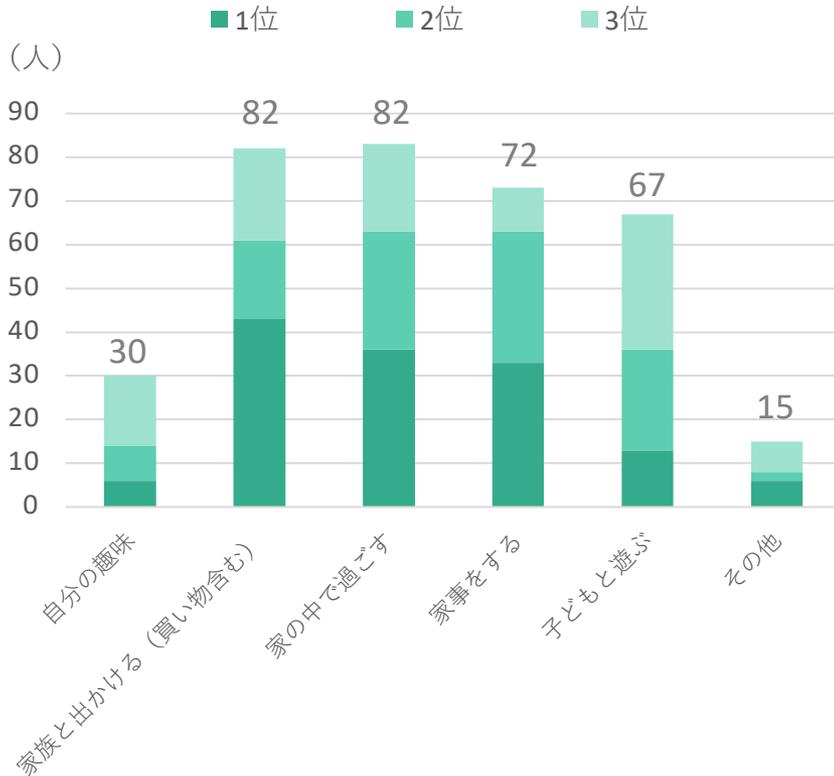


厚生労働省が平成17年8月、平成18年2月に実施したアンケート

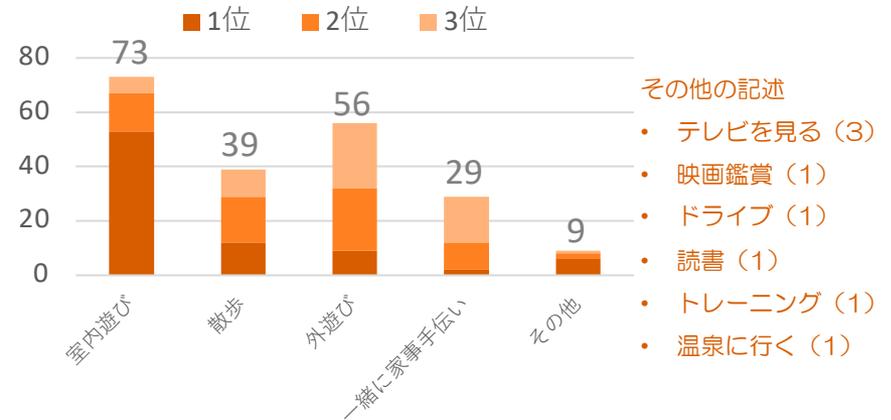


# 8. 休日は何をしていますか？

## 8. 休日の過ごし方（割合の高い順）



## 8-ア. お子さんとの過ごし方

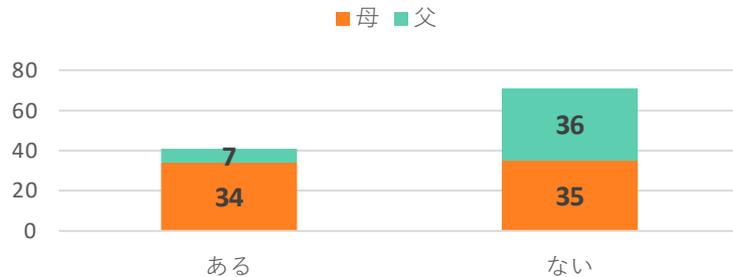


## 8-イ. お子さんとの過ごしている時の心境

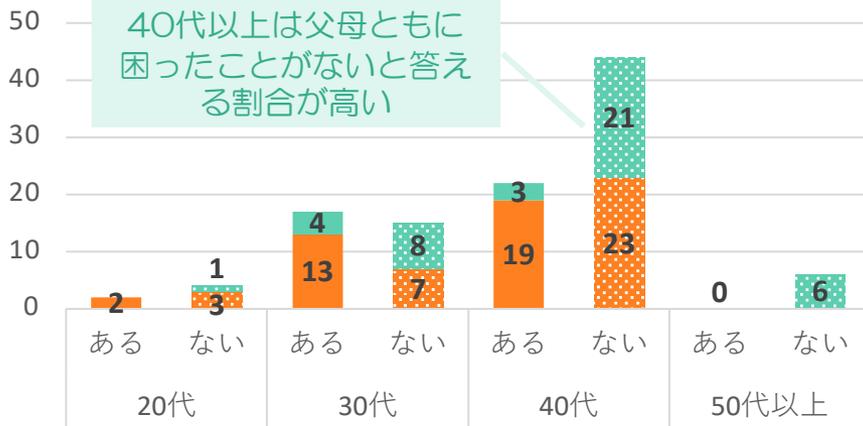


# 9. 家族からサポートが得られずに困ったことはありますか？

## 9. ある／ない



## 9. ある／ない（世代別）



回答者数112, 無回答10

## 9. 困ったことの具体的な状況

職業柄急に休むことが難しい場合などに子どもを預かってもらう環境整備の要望が多い

自身の体調不良時 (10)

子どもの体調不良・急病時 (7)

仕事などで子どもを預ける場所がないとき (6)

パートナーの仕事の事情により、協力が得られにくいとき (5)

夫婦両方・家族が体調不良になったとき (3)

買い出しなどの簡単な家事をしてほしいとき (1)

回答数38, ( ) 内は意見の数

## 10. 家族にどんなサポートをしてほしいですか？

家事（買い物、風呂掃除、送り迎え、洗濯など） (16)

子どもの相手 (9)

食事の用意・提供 (8)

自分のことは自分でしてほしい (3)

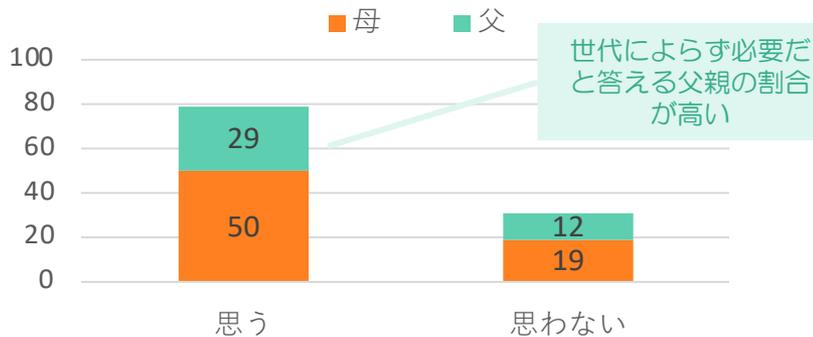
特にない (16)

問3で父親が担当していない割合の高い内容（洗濯、食事、子どもの勉強を見る）についてサポートがほしいという要望が大きい

すでに十分サポートしてもらっているので、必要ないというコメントも

# 11. もっと自分や家族のための時間が必要ですか？

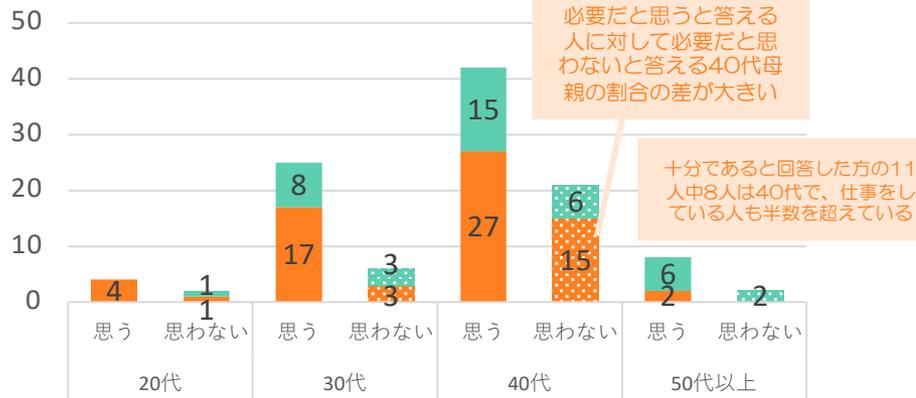
## 11. 必要だと思う／思わない



## 11. 必要だと思う理由

- 自分の時間・何もしない時間がほしい (15)
- 仕事が忙しい (10)
- 子どもとゆったりと向き合う時間がほしい (9)
- 時間がない、休みがない (8)
- 家事で忙しい (6)
- 子どもと一緒に過ごす時間が大切 (6)
- 心に余裕があれば健康にもつながる (3)
- 夫婦でゆっくり過ごす時間がほしい (2)

## 11. 必要だと思う／思わない (世代別)

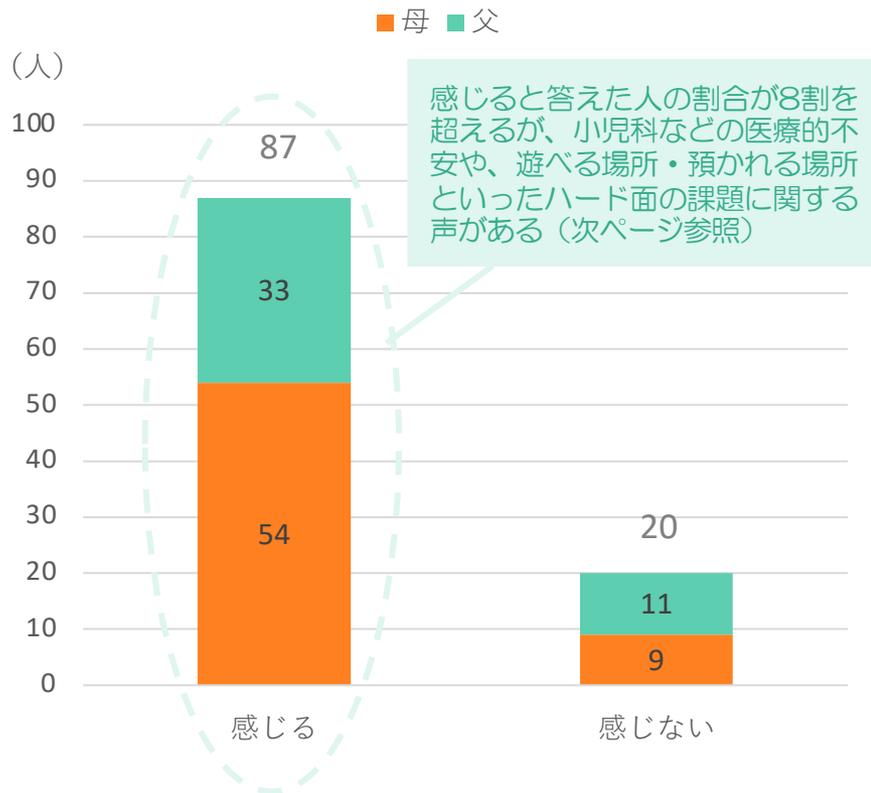


## 11. 必要だと思わない理由

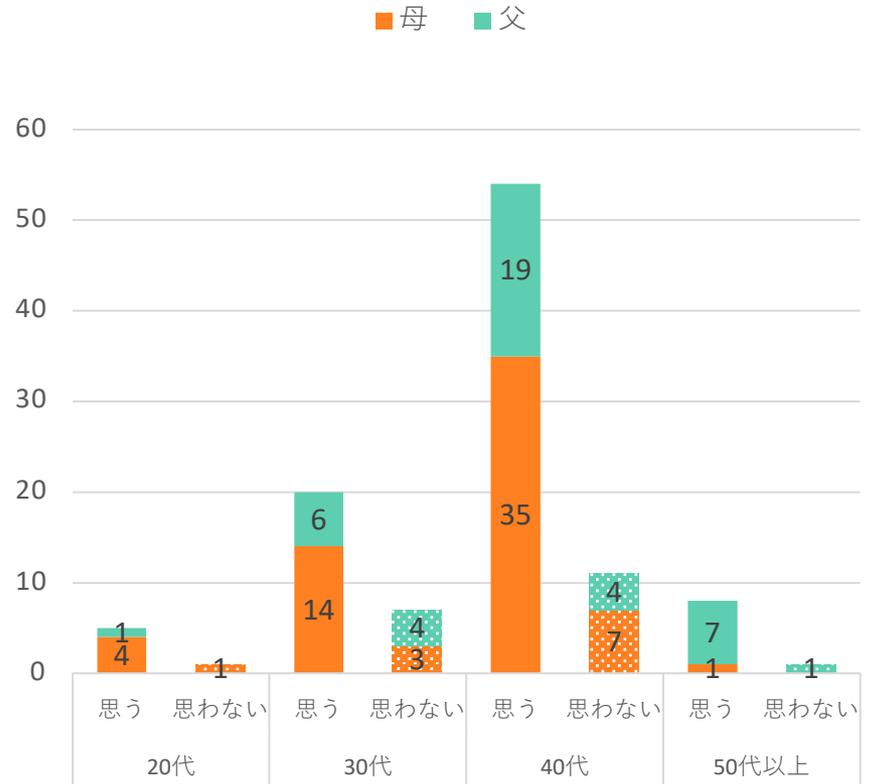
- 子どもと十分接することができる (11)
- 働きながらこれ以上時間を取ることは難しい (1)
- よくわからない (1)

# 12. 中頓別町は子育てしやすい町だと感じますか？

## 12. 感じる／感じない



## 12. 感じる／感じない（世代別）



## 12. 中頓別町は子育てしやすい町だと感じますか？

### 12. 子育てしやすいと感じる理由

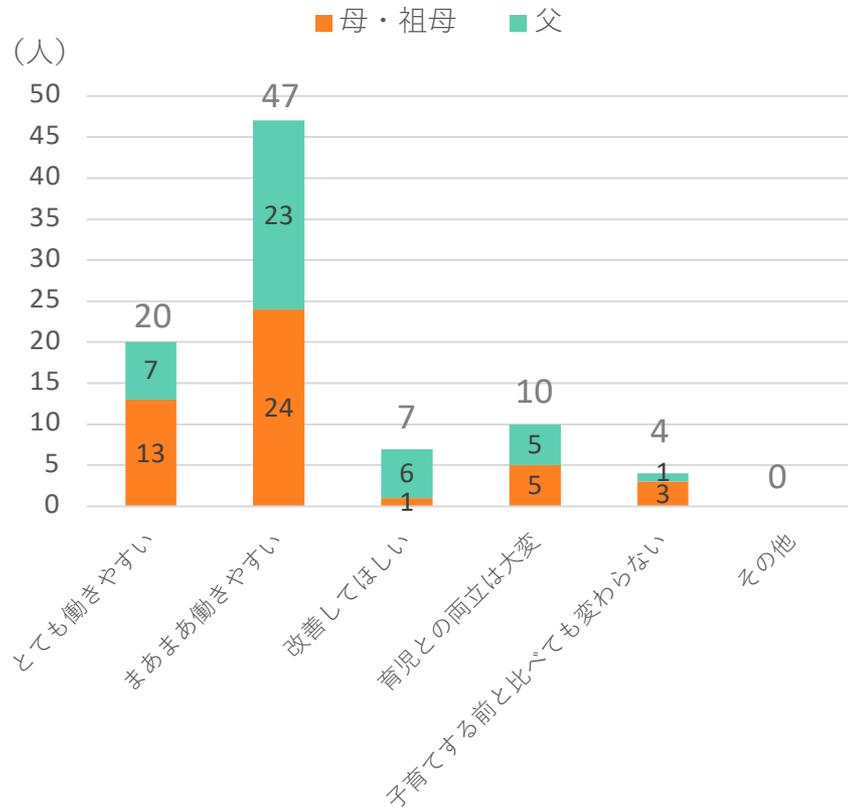
- 保育料・医療費無料など、**支援が手厚い** (33)
- 人数がちょうど良く、みんなが気にかけて合っていて、**人間関係もいい** (9)
- 自然豊かで、**子どもたちがのびのび**している (7)
- 他の町よりお金がかからない (5)
- まちの教育が熱心 (2)
- 公園があり、外の遊びが充実している (2)
- 学校のサポートが手厚い (1)
- まち全体で子育てに理解がある (1)

### 12. 子育てしやすいと感じない理由

- 小児科がない、病院が遠い** (5)
- 遊ぶ場所や集まれる場所が少ない** (4)
- 子どもを預ける場所がない** (3)
- 教育やスポーツの環境が整備されていない** (2)
- 子育て世代の家族へのサポートやサービスが少ない (2)
- 出産後の復職など就労の環境が整備されていない (1)

# 13. 職場はどのような環境ですか？

## 13. 職場環境

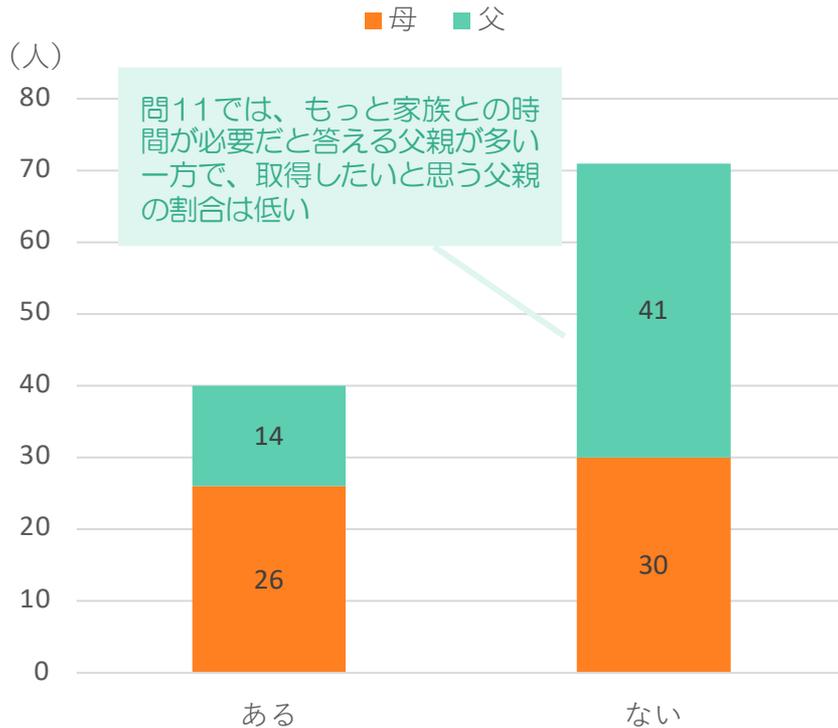


## 13. その他

- 家族経営
- 突発の休みが取りづらい
- 扶養手当があるといい
- 自営業のため、**制度の代わりにこども園やその他の子育てサービスの充実してほしい**
- 有給休暇がなく、働かないと収入減になる
- 子どもが生まれたとき、もっとパートナーのサポートをしたかった

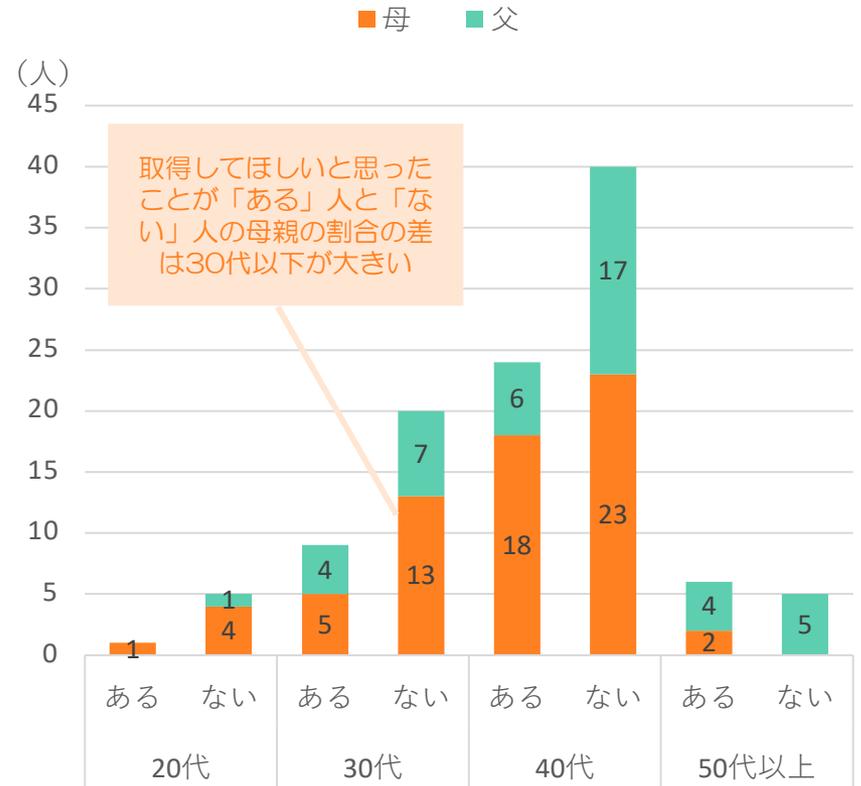
# 14. 男性の育休・時短勤務を取得したい・してほしいと思ったことはありますか？

## 14. ある／ない



回答者数111, 無回答11

## 14. ある／ない (世代別)



年齢不明・思ったことがある女性1

## 14. 男性の育休・時短勤務を取得したい・してほしいと思ったことはありますか？

### 14. 取得したい・してほしいと思った理由

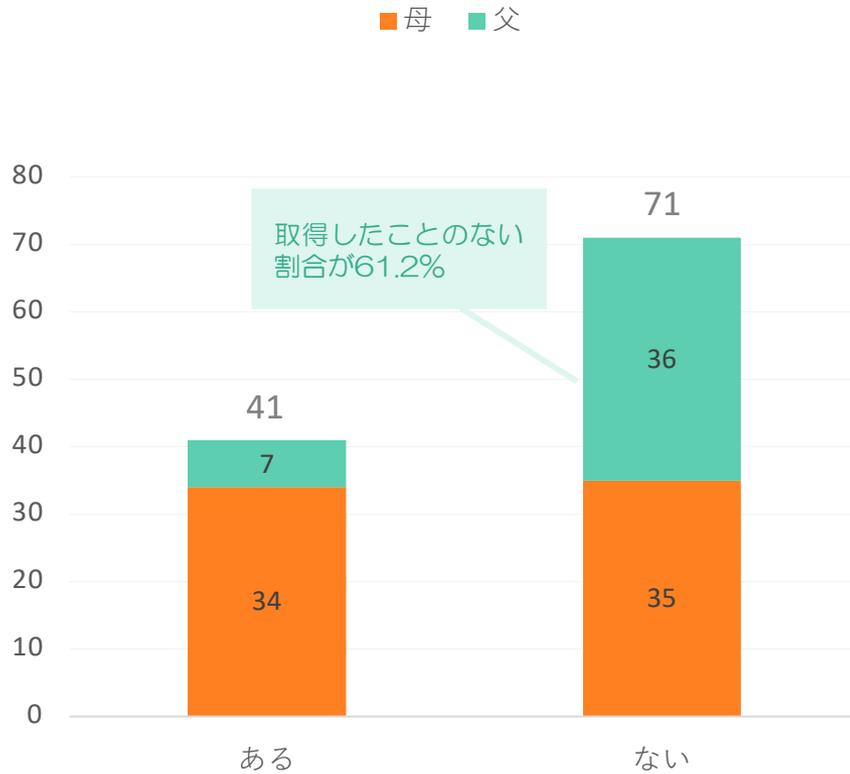
- 一人では大変、女性の負担が多いから (8)
- 一緒に子育てをしたいから (5)
- 男性も育児に参加した方がいいから (4)
- 制度を理由に家事・育児の時間を確保してほしい (4)
- お母さんの休日のため (3)
- 後輩が取得しやすくなるために (1)
- 子どもにストレスなく育ててほしいから (1)
- 育児をするだけが育児休暇ではないから (1)

### 14. 取得したい・してほしいと思わない理由

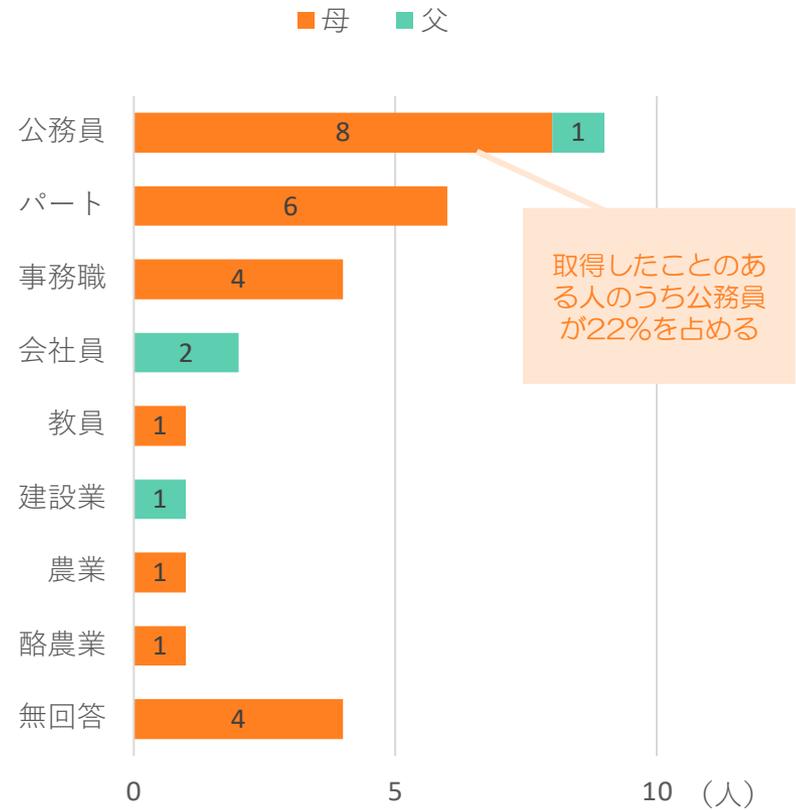
- 休暇を取っても家事と育児は両立できない、全てを任せられないから (3)
- 家族経営なので働いてもらわないと困るから (1)
- 公務員にしかできないから (1)
- その様な風潮がない社会的な問題 (1)
- シングルなのでわからない (1)

# 15. 回答者自身が育休・時短勤務を取得したことはありますか？

## 15. ある／ない

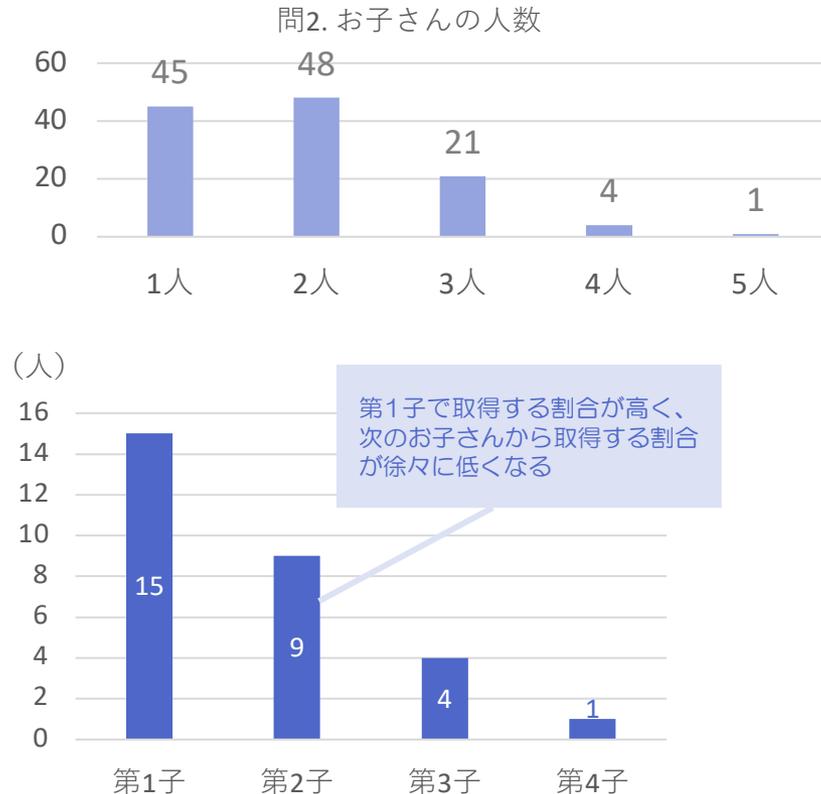


## 15. 「ある」と答えた人の職業

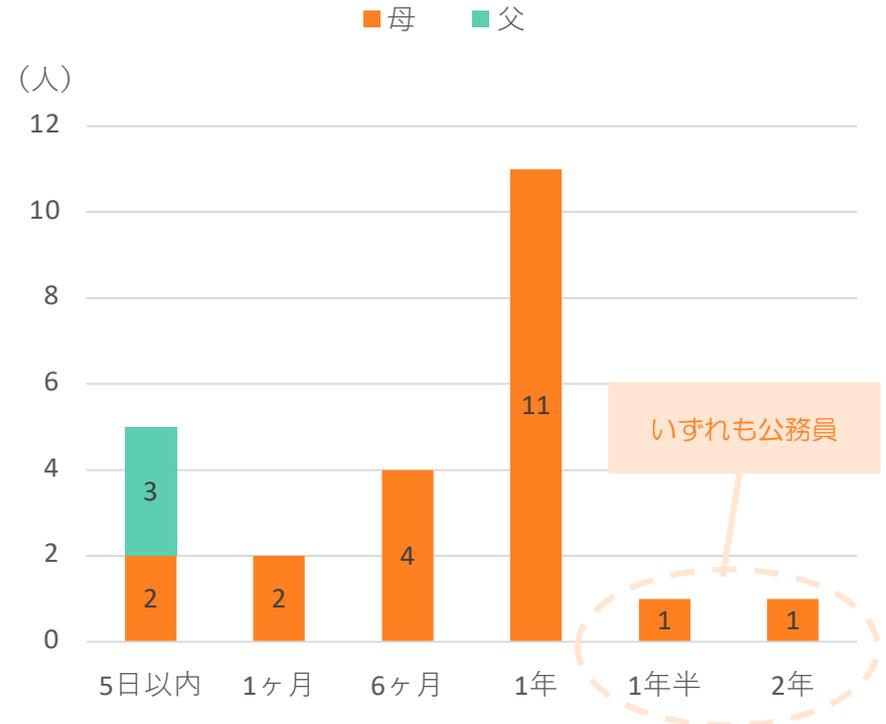


# 16. 取得した育休・時短勤務の具体的な内容は？

## 16-ア. 取得のタイミング

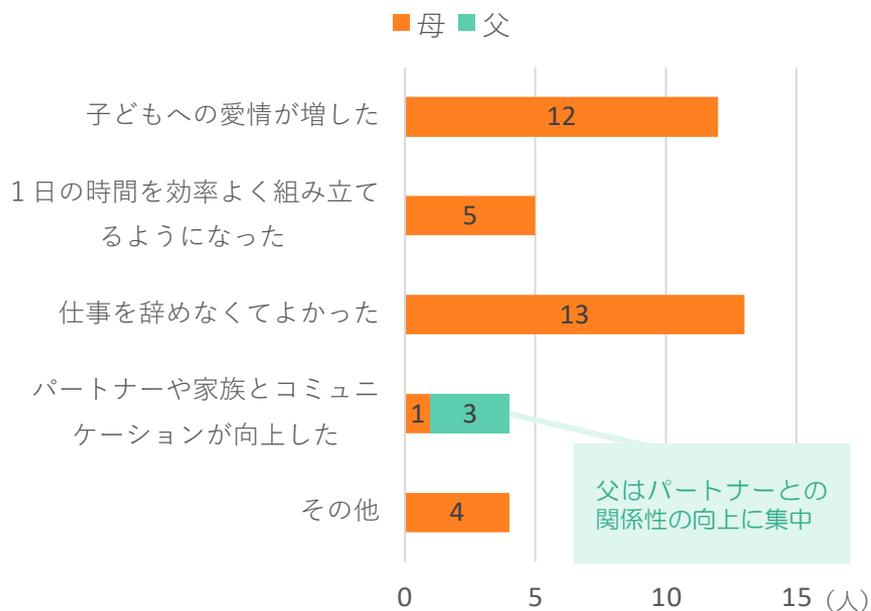


## 16-イ. 期間



# 16. 取得した育休・時短勤務の具体的な内容は？

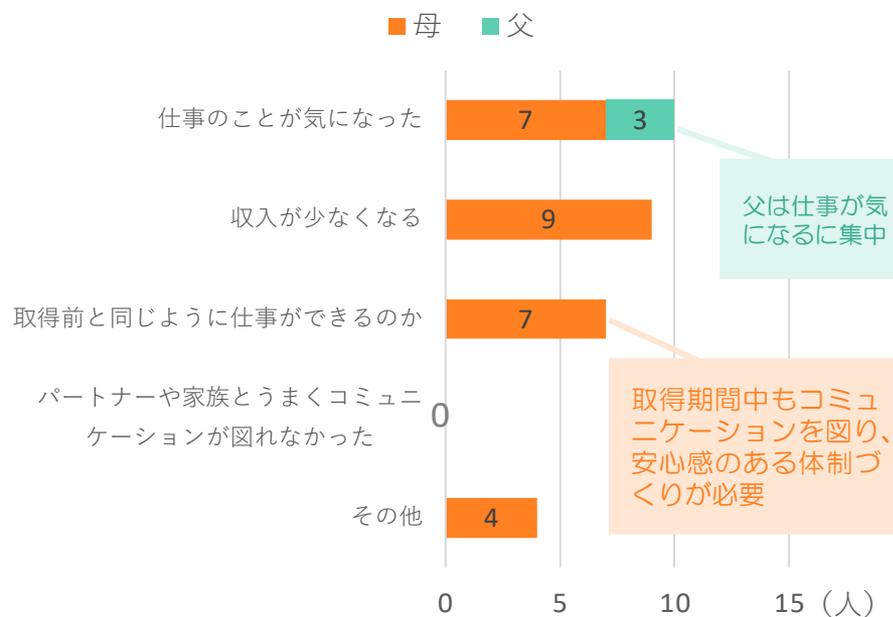
## 16-ウ. 良かったと思うこと



### その他の記述

- 時間・体力にゆとりをもてた
- その時は感じなかったが、自分の時間が持っていた

## 16-エ. 不安だったこと・困ったこと

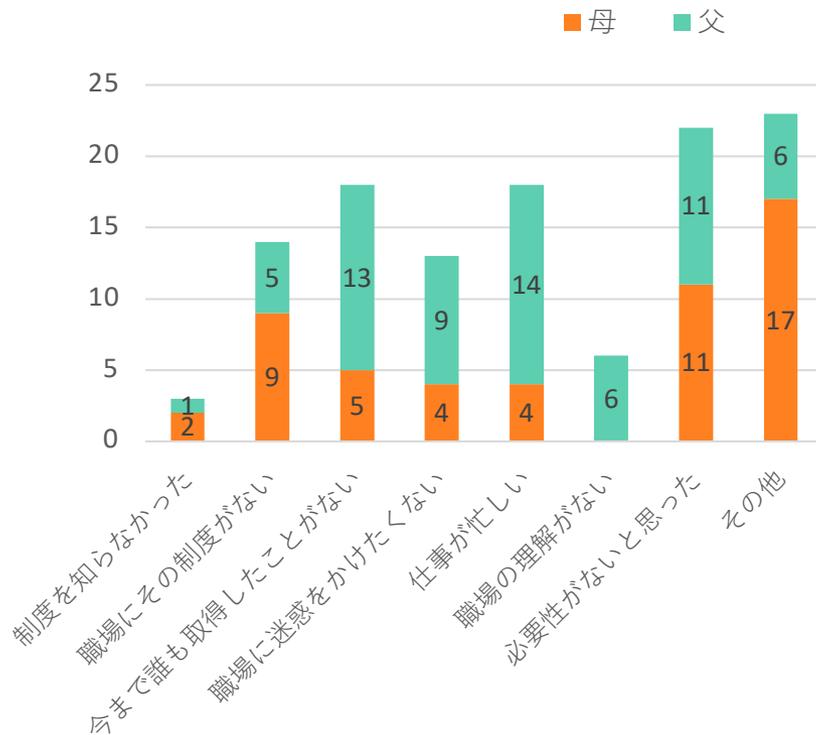


### その他の記述

- 外部の情報が取りづらい
- 周囲に迷惑をかけていないか、疎まれていないか気になった
- 同僚に迷惑がかかっていないか

# 17. 育休・時短勤務を取得したことがないのはなぜですか？

## 17. 理由



## 17. その他

自営業のため、**考えたことがない** (3)

職業柄、取得が難しい (2)

**取得している人がいないから** (2)

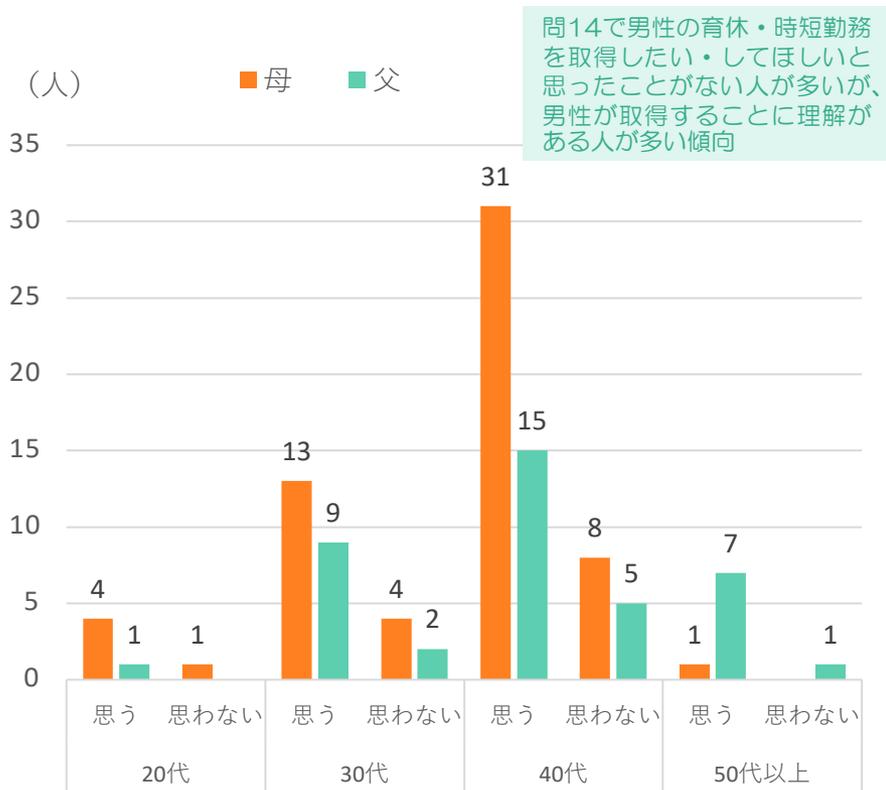
**家計**を考えると母が取得した方がいいと判断したため (2)

正職員でなかったため (2)

そこまでする必要がない、有給でやりくりできたから (2)

# 18. 男性の育休は必要だと思いますか？

## 18. 思う／思わない



## 18. 必要だと思う理由

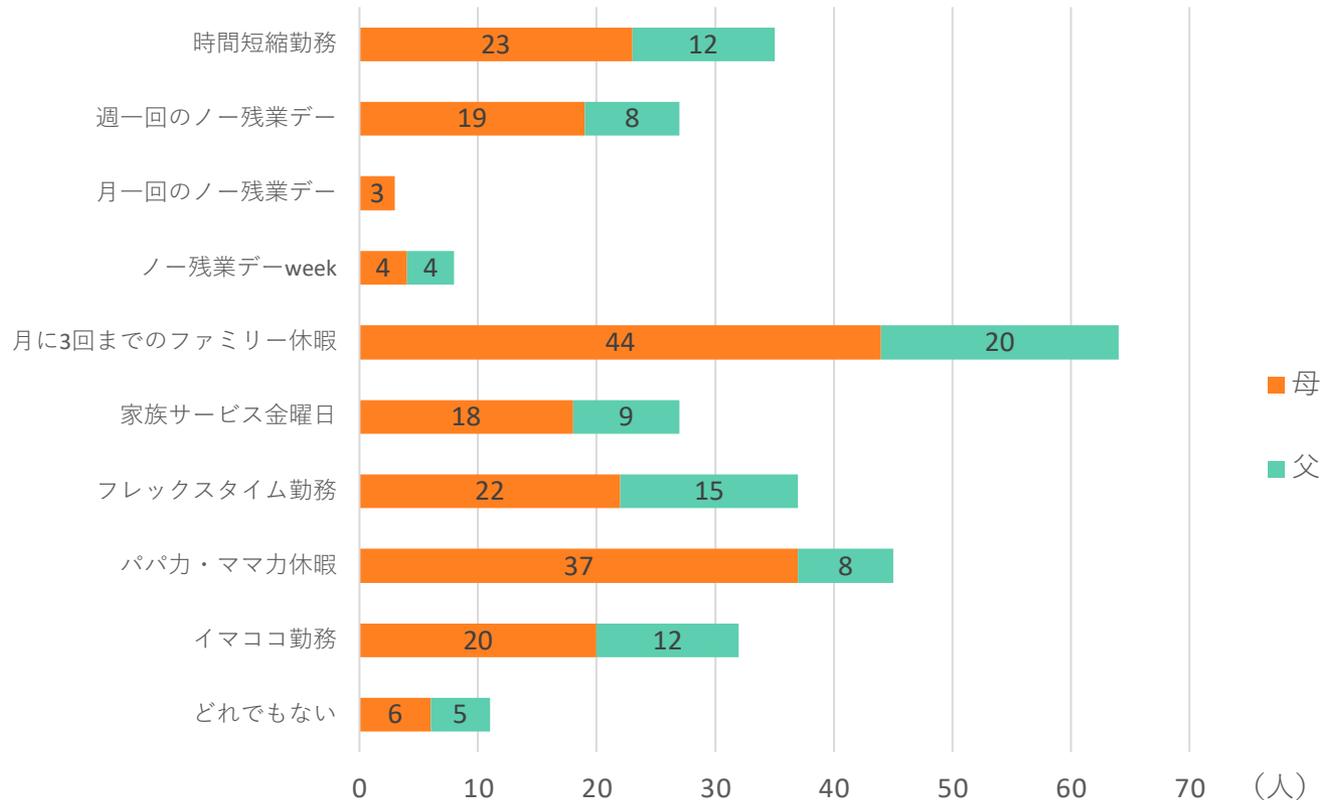
- 男性も育児をすべき。女性に限定する理由がない (10)
- 近くに祖父母がいない場合など、一人での育児は大変。女性は負担が大きい (9)
- 家庭によるが、必要な人が取れるようになる必要がある (5)
- 一緒に親になったので協力したい (3)
- 男性にもわが子とたくさん触れ合い、楽しさ大変さを分かち合いたい (3)
- 日本は遅れている。男性の取得が求められる時代になった (2)

## 18. 必要だと思わない理由

- 性別に関係なく必要な人が取れるべき (5)
- 取得しても家事などをしてくれるとは限らない (2)
- 給与面が大きい (1)
- 一次産業には当てはまらない (1)
- 民間ができるわけがない (1)

# 19. どんな制度があると子育てしやすいですか？

## 19. あるといいと思う制度



## 20. 子育てしやすくなるアイデア

### 施設などの環境整備

- 父親も子どもと一緒に遊びに行きやすい場所がほしい。母親の自分時間を作ることができ、父は子どもと出かけるなど、チームプレイができる
- 交流地点になる複合施設（スーパー、娯楽、温泉など）があるといい
- お父さんのための参観日などお父さんと子どもだけで参加できるイベントがあると母親が家で一人になれる。1日かかるイベントだとなお良い。

### 経済的支援

- 高校生がいる世帯への手厚い金銭的支援
- 金銭的（経済的）援助。
- ファミリーフレンドリー企業へ町独自の給付金を補助できるといい
- 扶養手当があるといい

## 20. 子育てしやすくなるアイデア

### 既存サービスの拡充

- 祝日もどこかで子どもをみてもらえる場所があればいい
- 酪農ヘルパー制度で、月1または3ヶ月に1回無料で利用できると、休みが取得しやすい
- もっとファミサポを活用できるといい。子育てはしやすいが、育児をしていない世代も自分のこととして考えなければ、町は変わらないのでは
- 子どもの看護休暇の日数を増やしてほしい

### 家族で子育てについて話し合うきっかけづくり

- アンケート記入にあたって、夫とお互いにどう考えているか、自分たちには何が必要かを話し合うきっかけとなり、パートナーシップにつながる一歩だと感じた。

## 20. 子育てしやすくなるアイデア

### 職場環境の改善①

- 育児休暇・時短勤務は公務員しか出来る可能性がないので民間では意味がない。公務員でも病院・消防・保育所等は無理。実態の把握が必要
- 家庭を犠牲にしてきた父親が上層部になっており、制度を知らないという理由で受け入れられないことが課題。上層部への理解促進が必要
- 父と子が一緒にいる時間を増やしたい。男性が休む＝ダメなことのような雰囲気払拭したい
- 子育て世帯に強制的な休日、時間休があるといい
- 親も気兼ねなくリフレッシュできる制度があるといい
- 仕事をフォローする側にも「うまみ（お金や休暇）」があるといい。子育て世代より下の世代を巻き込んでいく必要がある

## 20. 子育てしやすくなるアイデア

### 職場環境の改善②

- 子連れ出勤、同伴での会議や勉強会参加が可能になるといい
- 勤務時間内で仕事が終わるような取り組みにしていく必要がある
- 普通の休暇が取得しにくい状況なので、公的機関から率先して取得していく必要がある
- 夫婦ともに公務員のため、仕事量を減らすことが難しい。勤務時間内で仕事が終わるような仕組みづくりが必要

### 医療サービスの拡充

- 中頓別町に病児保育があればいい
- 町内に小児科があってほしい。高熱を出した時や入院するとき、名寄まで通院するのはやはりつらい

## 20. 子育てしやすくなるアイデア

### 体制の構築・整備

- 子どもが体調を崩したときこそ子どものそばにいられる制度が必要
- 3歳未満のうちには保育園に預けず家庭で育児をする方法を推奨する考え方もあるため。両親のうち一人は家庭にいられるしくみがあるといい
- 家事の隙間時間を利用し得意なことを生かしたプチ仕事をするしくみがあると色々な分野のプロフェッショナルが増えるかもしれない
- 制度ではなく、子ども目線で格差が出ないようにすることが重要
- パートナーがいない方のほうが両立のハードルが高いが、いかにサポートできるか検討が必要
- 産後1年程度、家事育児サポートとして派遣サービスがあるといい
- 町内に短時間のパートタイムの仕事が増えるといい

ご協力をありがとうございました。

このアンケート結果をもとに、未来をつくる子育てについて一緒に考え、話せる仲間を増やしていきたいと考えています。